

## ■＜参考資料＞中小企業診断士第2次試験の出題の趣旨

中小企業診断協会が公表している出題の趣旨です。

### 令和元年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ」の出題の趣旨

#### 第1問（配点 20点）

事業再建のための新規事業開発において、経営者が考えるべき戦略的課題に関する分析力を問う問題である。

#### 第2問（配点 20点）

企業体質および企業風土の形成要因とその関係について、理解力を問う問題である。

#### 第3問（配点 20点）

市場動向とホームページなどを活用した情報戦略の関連性について、理解力を問う問題である。

#### 第4問（配点 20点）

新規事業の営業力強化にとって必要な意識改革を実践する経営施策について、理解力・分析力を問う問題である。

#### 第5問（配点 20点）

組織再編を実施する際の条件に関する分析力を問う問題である。

以上

## 令和元年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅱ」の出題の趣旨

### 第 1 問 (配点 20 点)

B 社内外の経営環境を分析する能力を問う問題である。

### 第 2 問 (配点 30 点)

B 社顧客個々の状況に合わせたコミュニケーション方法を提言する能力を問う問題である。

### 第 3 問 (配点 50 点)

#### (設問 1)

B 社の状況や目的に応じて、協業相手やターゲットを提言する能力を問う問題である。

#### (設問 2)

B 社の強みを活かし、新規顧客との長期的関係性を築く施策を提言する能力を問う問題である。

以上

## 令和元年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ」の出題の趣旨

### 第 1 問（配点 20 点）

金属熱処理業として創業し事業拡大を図ってきた C 社のこれまでの事業変遷を把握して、C 社の強みを分析する能力を問う問題である。

### 第 2 問（配点 20 点）

X 社からの新規受託生産に応じる場合の C 社の生産面における効果とリスクについて、分析する能力を問う問題である。

### 第 3 問（配点 40 点）

#### （設問 1）

C 社社長の方針に基づいた新規受託生産のための新工場の在り方について、助言する能力を問う問題である。

#### （設問 2）

X 社と C 社間で後工程引取方式の構築と運用を進めるために、C 社で必要な生産管理上の検討内容について、助言する能力を問う問題である。

### 第 4 問（配点 20 点）

新工場が稼働し、X 社からの新規受託生産が開始された後の C 社の戦略について、助言する能力を問う問題である。

以上

## 令和元年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

### 第 1 問（配点 25 点）

#### （設問 1）

連結財務諸表を利用して、診断及び助言の基礎となる財務比率を算出する能力を問う問題である。

#### （設問 2）

連結財務諸表に基づいた財務比率を基礎に、財務的な特徴及びその変化について分析し説明する能力を問う問題である。

### 第 2 問（配点 25 点）

#### （設問 1）

短期利益計画を検討するに当たって、基礎資料となる変動費率を事業部レベル及び全社レベルで算定する能力を問う問題である。

#### （設問 2）

短期利益計画の策定に当たって必要となる損益分岐点売上高を算出する能力を問うとともに、その限界について理解していることを確認する問題である。

#### （設問 3）

事業部ごとに異なっている原価構造を理解することによって、実態に即した目標を設定する能力を問う問題である。

### 第 3 問（配点 30 点）

#### （設問 1）

新規プロジェクトの損益予測情報を利用して、プロジェクトの将来キャッシュフローを算定する能力を問う問題である。

#### （設問 2）

プロジェクトの安全性・収益性評価のために、予測情報に基づいて回収期間及び正味現在価値を算定する能力を問う問題である。

**(設問 3)**

代替的プロジェクトが存在する場合について、差額キャッシュフローを利用することによって合理的にプロジェクトの選択を行う能力を問う問題である。

**第 4 問 (配点 20 点)**

**(設問 1)**

子会社化された配送業務について助言するために必要となる、子会社化のメリットとデメリットに関する理解を確認する問題である。

**(設問 2)**

EDI (電子データ交換) の導入を検討するに当たって、その財務的な効果について助言する能力を問う問題である。

以上